

UiTMとの 「ロボット交流プログラム」

工学部新聞No. 11

発行日 平成25年1月28日



※本紙のカラー版は工学部HPで公開中です。
<http://www.yz.yamagata-u.ac.jp/shinbun/index.html>

~目次~

1ページ

- ・UiTMとのロボット交流プログラム
- ・吾妻祭にアツマンジャー参上!

2ページ

- ・講演:宇宙飛行士・山崎直子さん
- ・山形県民シンポジウム
- ・時任研究グループ:世界初、印刷法で「擬CMOS」を試作!!

3ページ

- ・第4回工学部長杯野球大会
- ・部活紹介:SALIBANDY部
- ・合同企業説明会

4ページ

- ・学会での学生表彰!!

5ページ

- ・インタビュー:雪谷戦実行委員長
- ・第46回八峰際

6ページ

- ・インタビュー:交換留学した梅津優樹さん
- ・Movie Night
- ・今後のお知らせ
- ・編集後記

UiTMの学生がロボットの研究室を見学!



の企画に協力されたようです。

UiTMの学生らは工学部の研究室を見学し、山形大学のロボット技術を学ばれました。一部の研究室の学生と夕食を共にしながら、親交を深めたようです。

初めての日本に興味津々の学生らは、紅葉の時期でもあり、美しい山の風景や、落ちていく色づいた木の葉を眺めては、写真撮影をしていました。自由時間には、工学部のマレーシア留学生と山寺で日本文化を体験したり、大学近辺のお店で買い物をするなどして、山形での5日間を満喫したようです。

UiTMの学生からは、「マレーシアでは紅葉を見られない。とても綺麗だった。多くの日本人と交流でき、日本を知る良い機会になった」との感想が聞けました。5日間の滞在期間の中で、いろいろな日本語を覚えたマレーシアの学生たち。北国の寒さに慣れない彼らが一番最初に覚えた日本語は、終始つぶやいていた“寒い”だったことは、言うまでもありません…。

吾妻祭にアツマンジャー参上! ステージ企画、会場を沸かす

第18回目の吾妻祭が10月6日から8日までの3日間、米沢女子短期大学と山形大学工学部で開催されました。今年のテーマは「VOICE」。総勢169名もの吾妻祭実行委員が総力を挙げ、様々な新企画で来場者を楽しませて下さいました。



アツマンジャーの
ブルーとレッド



花笠踊り

米沢女子短期大学ではONE☆DRAFTのライブや、アツマンジャーショーが、工学部では毎年恒例のお化け屋敷やステージ企画が開かれました。新設された100周年記念館前の北ステージでは、地方団体の方々によるふるさと踊り、日本舞踊をはじめ、さまざまなパフォーマンスに多くの来場者が目を奪われているようでした。

沢山の人々のVOICEを届けた今回に引き続き、来年はどんな企画で我々を楽しませてくれるのが、これから楽しみです。

講演:宇宙飛行士・山崎直子さん、宇宙の魅力を伝える



山崎直子 (やまざき なおこ)

1970年、千葉県松戸市生まれ

東京大学工学部航空学科卒業。同大学航空宇宙工学専攻修士課程を修了後、宇宙開発事業団(現JAXA)に勤務。99年2月に国際宇宙ステーション(ISS)に滞在する宇宙飛行士候補者に選ばれる。2008年11月11日、スペースシャトル(STS-131/19Aミッション)への搭乗が決定、10年4月5日から約15日間、宇宙へ飛行した。これは日本人女性では2人目の快挙である。

宇宙飛行士の山崎直子さんが12月5日、米沢興譲館高校で「宇宙・人・夢をつなぐ～未来へはばたくみなさんへ～」と題した講演をされました。山崎さんは、全生徒を前に「人生にはいろんな可能性がある。どの道を選ぶかより、選んだ道をどう歩むかが大切」「海外で活躍するには、日本人として教養やそれを伝える能力が必要」と自らの体験を踏まえエールを送られました。

同校は、生徒たちに科学への関心を高めてもらうために、著名な科学者の講演会を定期的に開催していて、この日は、共催した山形大学工学部からも多数の学生や教員、職員が参加されました。

山崎さんは、幼少の頃や留学生活、宇宙飛行士になるための訓練、宇宙ステーションでの活動などを、写真を交えて紹介。11年間に及んだ訓練生活で、山崎さんは、戦闘機の操縦訓練、宇宙服を着用し水中で行う疑似船外活動、ロシアでのサバイバル訓練などを体験し、座学として宇宙工学や英語、ロシア語などを学ばれました。15日間滞在した宇宙では、国際宇宙ステーション(ISS)でロボットアームを使った組み立て作業や、無重力を生かした科学実験を行い、日本の実験棟「きぼう」の完成に尽力されたそうです。

山崎さんによると、宇宙飛行士はいくら訓練をしても、自分がいつ宇宙にいけるかは分からないとのこと。訓練拠点を日本からアメリカ、ロシアと移動し、家族の負担も大きいそうです。そんな状況でも、山崎さんは、「変えられないことは受け入れ、変えられることは改善する」と毎日コツコツ努力されていました。

今回の講演は高校生や学生にとって、学校生活の参考になったのではないのでしょうか。講演後、会場から拍手が絶えませんでした。

山形県民シンポジウム:地域人材の育成に向け議論…

地域に貢献する人材の育成について議論するシンポジウム『『未来の置賜人』に望むこと～地域が求める人材とは～』が12月11日、グランドホクヨウで開かれました。大学や企業、市民が連携して取り組むべき課題について、それぞれの代表者が意見を交わしました。

基調講演した佐藤廣志・NDソフトウェア(株)社長が「～地方から全国へ～我が社が求める人材とは」という題目でお話されました。

続いて、米沢放電工業(株)の橘田明弘社長、小野川温泉寿宝園の関谷幸子女将、本学部から古川英光教授、電気電子工学科4年の小松拓音さん、バイオ化学工学科2年の薛珅瑶さんを交えてのパネル討論が行われました。「若者をリードする大人が必要だ」「新しい価値や、挑戦、失敗を受け入れるムード作りに励むべきだ」といった意見がでました。

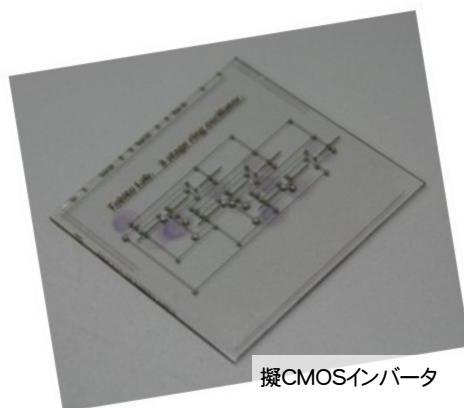
このシンポジウムは「地域人材の育成」をキーワードに10、11月に山形、鶴岡、新庄でも行われ、次回は3月15日に山形で開催されるそうです。興味のある方は、参加されてみてはいかがでしょうか。

パネリストに工学部生と置賜人が参加



左から、橘田社長、関谷女将、古川先生、小松さん、薛さん

時任研究グループ:世界初、印刷法で「擬CMOS」を試作!!



擬CMOSインバータ

有機エレクトロニクス研究センターの時任先生らの研究グループがインクジェット法やスピコート法などによって、塗布可能な有機素材や銀ナノ粒子インクを用いた擬CMOSインバータの試作に成功しました。作製にコストのかかるシリコンデバイスに対し、この印刷法では有機素材を用いたフレキシブルディスプレイやトランジスタなどの製造において省電力、省資源な製造方法として期待されています。また、試作した擬CMOSインバータは携帯電話やパソコンなどの基礎回路素子であるCMOSと同程度の性能を有しており、製造の全工程を印刷によって作成するものは今回が世界初だそうです。この研究結果は今後、様々なデバイス作成に大きく貢献することや、従来の電子部品の代替になりうる事が期待されています。

時任先生らの研究グループは、今回の成功を足掛かりに、特にフレキシブルディスプレイやフレキシブル有機RFIDタグなどの実現に向けて、印刷を用いた製造の一層の高度化、機能・性能の改善を進めています。



第4回工学部長杯野球大会

～7チーム参戦 城戸研究室優勝!!～

10月17.19.22日の3日間にわたって、『第4回工学部長杯野球大会』が開催されました。この大会は、学生同士の親睦を深めることを目的として開催されています。

10月17.22日には昨年の優勝チームである落合研チーム、各学科の代表チームの合計7チームが参戦し、工学部グラウンドにて予選リーグを行いました。リーグ戦を勝ち抜いた4チームが、米沢市営皆川球場での決勝トーナメントに参戦しました。トーナメントに進んだ4チームは古川研究室(機械システム工学科)、城戸研究室(機能高分子工学科)、落合研究室(物質工学科)、杉本研究室(電気電子工学科)となりました。

トーナメント当日は快晴の中、試合が行われました。激闘の中、決勝戦は『城戸研究室(機能高分子工学科)』対『杉本研究室(電気電子工学科)』となり、4対1で城戸研究室が杉本研究室を下し、2年ぶりに優勝しました。

終了後、実行委員長は「9月からいろんな方々に助けをいただけて無事終わることが出来ました。来年も工学部長杯が無事に開催できればいいと思う」と話していました。



部活紹介:SALIBANDY部

毎週金曜日17時から19時に体育館で活動している、SALIBANDY部を紹介します。SALIBANDY(サリバディー)という競技はキーパーを含めたプレイヤー6名の室内ホッケー。別名をフロアボールと言います。

工学部のSALIBANDY部は現在、男女合わせて24名。昨年10月27、28日に出場した学生選手権では、女子3位、男子4位とのこと。次期部長である、電気電子工学科3年の木村剛久さんは、「SALIBANDY部はイベントが多く、楽しいサークル」競技に取り組む時はみんなの目の色が変わる。SALIBANDYをして一番いいと思える瞬間はゴールを決めるとき。選手権やリーグ大会では強豪チームとの対戦が良い刺激になり、練習にも熱が入るとSALIBANDY部の魅力を話してくれました。

練習を取材したところ、スティックを持った選手がコートの端から端までボールを追いかけていて、とても迫力があります。米沢、小白川、鶴岡のそれぞれのキャンパスで活動しているそうです。興味を持たれた方は是非、SALIBANDY部の練習を見学されてはいかがでしょうか。



SALIBANDY部のみなさん

合同企業説明会:就活スタート 今年は320社が出展

工学部生を対象とした合同企業説明会が12月1、2日、米沢市市営体育館で開催されました。2日間で320社がブース出展し、1日あたり約700名の就活生が来場。真新しいリクルートスーツに身を包んだ学生たちは、企業の採用担当者や技術者の説明に熱心に耳を傾けていました。

東京で行われる100社程度の企業説明会と比べ、今回の合同説明会はたくさんの企業が出展。会場には先生方もいらしており、企業との交流を深めていました。来場した学生からは、「一人一質問くらいしか時間がなかったが合説で詳しい内容が聞けてよかった」「行きたい企業が見つかった」「合説に参加してどんな企業があるか知れた」「山大的卒業生が説明に来ていたので親しみやすかった」との感想が聞かれました。

前年度から2ヶ月短くなった就職活動。今年度は12月1日にスタートしました。今後のスケジュールは1、2月に選考や説明会、2、3月には就職試験があり、4、5月以降に内定が出されます。“短期決戦型”になった就職活動に合わせ、学生は早め早めの準備が必要となるでしょう。



学 会 等 で の 表 彰 一 覧

平成24年度化学系学協会東北大会ポスター賞受賞!

おがわ けいすけ
小川 佳祐 さん (福島県立須賀川桐陽高校)

バイオ化学工学専攻 (片桐研究室) 平成24年9月16日受賞

題目: 2,6位における π 共役拡張を指向したオリゴアズレンの合成と物性

A Poster Prize!

平成24年10月11日受賞

むろい ひさと
室井 寿人さん (栃木県立大田原高校)

機械システム工学専攻 (古川研究室)

Theme: Optical 3D Printer for Soft & Wet Industrial Materials

Excellent presentation award!

平成24年9月14日受賞

あだち ひろお
安達 寛生 さん (山形県立山形南高校)

電気電子工学科 (杉本研究室)

題目: 静電スプレーを用いたポリマー絶縁物の絶縁劣化評価

ICFPE Student Poster Award!

平成24年9月8日受賞

たけだ やすのり
竹田 泰典 さん (宮小教工業高専)

電気電子工学専攻 (時任・熊谷・福田研究室)

Theme: Patterning Method for Silver Nanoparticle Electrodes

using Selectively Treated Hydrophilic and Hydrophobic Surfaces

Excellent presentation award!

平成24年9月14日

やまぐち こうへい
山口 耕平 さん (岡山県立岡山城東高校)

電気電子工学科 (杉本研究室)

題目: 非接触型表面抵抗測定法を用いた塗装表面の評価

プラスチックリサイクル化学研究会

平成24年9月26日

第15回討論会若手研究者賞受賞!

たばた みさき
田畑 美咲 さん (福島県立福島東高校)

物質化学工学科 バイオ分野 (多賀谷研究室)

題目: 高温流体における熱可塑性樹脂の化学リサイクル

第61回日本応用糖質科学会 ポスター賞受賞!

平成24年9月19日

むらかみ せいご
村上 誓吾 さん (学校法人東海学園東海高校)

機能高分子工学専攻 (西岡研究室)

題目: 新規粉碎装置で作成した非晶性米粉が米粉生地

レオロジー特性と製パンに及ぼす影響

International Asian BioCeramics Symposium

Best Poster Award!

ささき ゆう
佐々木 優 さん (市立西館高等学校) 平成24年11月20日

応用システム工学専攻 (山本研究室)

題目: 水溶性ケイ酸塩セラミックスの抗菌活性と粘膜・皮膚再生

日本液晶学会討論会ポスター発表 虹彩賞受賞!

平成24年9月6日受賞

とよしま としゆき
豊島 敏行 さん (新潟県立新津高校)

有機デバイス工学専攻 (香田研究室)

題目: 液晶性エポキシ樹脂の配向秩序に関する

分子動力学シミュレーション

平成24年度化学系学協会東北大会ポスター賞受賞!

平成24年9月16日受賞

かみおか たかひろ
上岡 孝弘 さん (栃木県立佐野高校)

物質化学工学分野 (仁科研究室)

題目: リチウムイオン二次電池用バインダーである

高分子材料を溶解した溶液の導電機構

9th World Biomaterials Congress Poster Award!

平成24年6月5日受賞

きたかみ えりか
北上 恵理香 さん (青森県八戸高等学校)

バイオ化学工学専攻 (田中醫研究室)

Theme: Adhesion and proliferation of human

periodontal ligament cells on biocompatible scaffolds

平成24年度化学系協会東北大会 優秀ポスター賞!

平成24年9月15日受賞

やまぐち まさき
山口 正記 さん (山形県立南陽高校)

バイオ化学工学専攻 (佐藤慎吾研究室)

題目: peroxidase検出を指向した

カルタミン前駆体モデルの脱炭酸反応

平成24年度化学系協会東北大会 優秀ポスター賞!

平成24年9月16日

わたなべ まさみ
渡辺 真美 さん (静岡県立沼津西高校)

物質化学工学科 バイオ分野 (多賀谷研究室)

題目: 水酸化カルシウムを用いた

PVAナノコンポジットの創製と評価

EEE Creativity and Innovative Prize Paper Award!

平成24年6月14日

きたむら あさみ
北村 麻美 さん (新潟県立柏崎高校)

電気電子工学科 (杉本研究室)

Theme: Air-Assisted Passive Ionizer for a Charged Pipe

プラスチック成形加工学会第20回秋季大会ポスター賞受賞!

平成24年9月26日

いとう ひろゆき
伊藤 博之 さん (秋田県立秋田工業高校)

機能高分子工学専攻 (西岡研究室)

題目: 分岐状ポリエチレンの伸長粘度特性がフィルムの

ネックイン現象に与える影響

インタビュー:雪合戦実行委員長 大澤康平さん

「今年の大会は雪が溶けるくらいに…」



雪合戦実行委員長
バイオ化学工学科3年
おおさわ こうへい
大澤 康平 さん

第4回雪合戦大会が2月10日(日)10時から、工学部グラウンドにて開催されます。毎年100名ほどが参加する本大会は、全学部の教職員及び学生が参加する、米沢の冬の風物詩となりつつある行事です。

実行委員長のバイオ化学工学科3年、大澤康平さんからは「もっと多くの方に雪合戦大会のことを知ってほしい」「雪が溶けるくらい大会を盛り上げたい」と熱い意気込みをいただきました。

毎年熱戦が繰り広げられる本大会。参加者には芋煮や、優勝チームや入賞チームには豪華商品が用意されているそうです。興味のある方は暖かい服装で観戦されてみてはいかがでしょうか。もししたら、芋煮をいただけるかもしれません。



昨年の雪合戦の様子

第46回八峰祭:ゲストにビーグルクルー、Hi-Fi CAMP



ミスコン企画はテレビ局とコラボ!!

第46回目八峰祭が10月20日、21日の二日間、山形大学小白川キャンパスで開催されました。今年のテーマは、「Touch!～さあ、夢をつかまよう～」この学園祭が、多くの人々の触れ合いの場となり、夢の実現の機会を提供する場となり、沢山の人々に自己の可能性を広げてもらおうという思いが込められています。

注目されていたスペシャルゲスト&ライブとして、さくらんぼテレビ2012年イメージソングを歌われていたビーグルクルーと、CM曲で話題のHi-Fi CAMPがいらっやいました。ビーグルクルーは屋台を回るなどして大学生とも交流し、会場を沸かせていました。さらに後援として、テレビユー山形、さくらんぼテレビをはじめ、4社の放送局の協力をいただきました。テレビユー山形の「どよまん」とコラボするミスコンは、会場だけでなくテレビを通しての企画だったこともあり、ステージは緊張と興奮で大盛況、屋台やサークルのステージも盛り上がり、キャンパス内全体がとてもいい雰囲気でした。



海外 留学

梅津優樹さん:オクラホマ大学に交換留学

～留学は行ったもん勝ち～



物質化学工学科 3年

うめつ ゆうき

梅津 優樹 さん

2011年の11月からの約1年間、アメリカのオクラホマ大学に交換留学した梅津優樹さん(物質化学工学科3年)取材しました。

梅津さんは高校生のときから留学に関心があり、大学入学後も留学を視野に入れた勉強を続けていたそうです。留学の主な目的は、実用的な英語の習得。オクラホマ大学では、授業やプライベートを通じ、現地の学生や留学生と積極的に交流していたそうです。今では、自信を持って英語でコミュニケーションができるようになったことでした。

海外生活を振り返り、梅津さんは「アメリカはとても大きな国だった。世界は広く、外国人の友達もでき、自分の視野が一気に広がったよ」「英語はグローバル社会で不可欠な言語、留学を迷っている人がいたら、是非挑戦してほしいです。」とお話されていました。



映画鑑賞会:Movie Night 洋画で英会話を鍛える!!



英語力を鍛える洋画鑑賞会"Movie Night"が2週に一度、木曜日の夕方6時から、生協2階の交流ラウンジで開催されています。最近では、ハリウッド映画"Back to the Future"シリーズを上映。映画をすでに見た参加者も多く、ストーリーを理解しやすかったようです。

Movie Nightで上映される映画は、すべて英語字幕、英語音声。上映後は、主催者のZisk先生が映画のあらすじを解説。続いて、グループ毎に英語でディスカッションし、最後に代表者が映画の感想や、理解できなかったシーンやセリフの意味などを英語で発表します。

参加者は学部生から院生、留学生、教職員と幅広く、個人の英語のレベルもさまざま。英会話に興味がある、交友を広げたい、洋画大好き、そういった方は、是非参加してみてください。大迫力の音響と映像が、あなたを待っています!

今後のイベント

○雪合戦大会

日時:2月10日(日)

場所:工学部グラウンド

○留学生:雪灯籠づくり体験 参加者募集

上杉神社で雪灯籠を制作します。制作にご協力いただける留学生を募集中です!

日時:2月9日(土) 10:00~

場所:上杉神社

申し込み締め切り:2月1日(金)17:00

○第36回上杉雪灯籠まつり

日時:2月9日(土)~10日(日)、プレ点灯は2月8日(金)17:30~

場所:上杉神社境内・松が岬公園一帯

○工学部・大学院理工学研究科学学位記授与式

日時:3月20日(水)

場所:米沢市営体育館

○春期休業

日時:2月19日~4月5日

編集後記

2013年がスタートしました。今回の工学部新聞はいかがだったでしょうか?これから、雪合戦や雪灯籠といった冬のイベントが目白押しです。

平成21年10月5に初号を出した工学部新聞も今回で11号を発行することができました。これからも、工学部のイベント情報やサークル活動、研究を情報発できるよう、精進してまいります。

編集員を募集しています!掲載情報を 寄せてください!

一緒に新聞を作ってくださいの編集員を募集しています☆

また、サークル活動の成績や各種の受賞・表彰など、工学部新聞に掲載する情報もどしどしお寄せください!連絡お待ちしています!!

Tel: 0238-26-3419

E-mail: koukoho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp